



生態系サービスとは、生物多様性や生態系から人間社会にもたらされる様々な恩恵です。一般的に、生態系サービスはいくつかのタイプに分類されます。1) 食料や水や木材や遺伝子資源などの供給サービス、2) 光合成による酸素や有機物の生産および栄養循環に関わる基盤サービス、3) 大気や水や土壌などの制御や調節に関する調整サービス、4) 様々な生物の生息・生育地に関する保全サービス、5) レクリエーションなど精神的あるいは文化的なサービス、などです。このように、生態系サービスは多面的です。同時に、それぞれのサービスが相互に関係して、私たちの社会経済と直接的・間接的に結びついています。ここで重要なポイントは、様々な生態系サービスのサステナビリティです。例えば、生態系の供給サービスの過度な利用（例：森林伐採による木材生産）は、その他の生態系サービスを劣化させます。あるいは、生物の生息生育地の保全サービスを保護区設置や狩猟制限などで強化すると、生態系の供給サービスや文化的サービスの利用制限につながります。限られた国土の生物多様性や生態系からもたらされる多面的な恩恵を維持するためには、各タイプの生態系サービスの定量と可視化が不可欠です。

このような考えのもと、本ウェブシステムは、生態系サービスに関連する理情報を整備し地図化しました。

■ 関連リンク ■

生物多様性の恩恵：民族植物学情報で生態系サービスを可視化

<https://note.com/thinknature/n/n7c9edb109278>

環境研究総合推進費プロジェクト

「環境変動に対する生物多様性と生態系サービスの応答を考慮した国土の適応的保全計画」

https://www.erca.go.jp/suishinhi/seika/pdf/seika_2_05/4-1802.pdf

